

（仮題　幽霊だって、エッチしたいの！）

ヒロイン　　　　　わたし　21歳

また、新しい入居者か……。

ここ、わたしの部屋なのに。

大家さん、また家賃、値下げ、したのね。

駅前の一等地のマンションなのに、ありえないくらい安いもんね。

この部屋……。

でも、それだけ家賃が安いってことは、それなりの理由が

あるってことぐらい、わかんと思うんだけど……。

今度も、若い男か……。

お金、なさそうね。

お金がないなら、風呂なしのオンボロアパートでも借りればいいのに。

まあ、いいわ。

どうせ、ちょっと驚かせてあげれば、出ていってくれるでしょう。

深夜一時か……。

外は雨が降ってるし、暑くてジメジメしてて、

雰囲気は、ちょうどいいわね。

ちょっと、驚かせてあげようかな……。

っていうか、なんてかっこうして寝てるのよ……。

パンツ一枚で、大の字って……。

女の子の部屋で、それって、あり？

うーん。

どうしようかな。

まずは、足首でもつかんでやるか。

こうやって、両方の、足首を、そーっと。

フフフっ……。

目を覚ましたわね。

あたりキヨロキヨロしちゃって。

そんなに見回したって、わたしは見えませんよ。

フフフっ……。

ほら、ひんやりして、気持ち悪いでしょう？

動こうとしたって、動けないわよ。

しっかり、つかんでいるから。

フフフっ……。

まあ、これぐらいで、いいかしら。

手、離してあげるか。

フフフっ……。

驚いてる、驚いてる。

夢じゃないのよ。

ほら、足首に、わたしの手形、ついてるでしょう？

出るのよ、この部屋。

不動産屋さんから聞いたでしょ。

出るって……。

あれっ？

また大の字になって、寝ちゃった……。

あまり効いてないようね。

っていうか、よろこんでいるみたい。

もしかして彼、幽霊が出ることに期待してこの部屋を借りた、

その道のマニアなのかしら。

困ったわね。

怖がらせても、逆に、よろこんでしまうんじゃない……。

どうしよう……。

とりあえず、もう一回、足首、つかんでみるか……。

目開けて、キョロキョロしてる。

いくら見回しても、闇ばかりですよ。

フフフっ……。

今度は、ふくらはぎのほうまで、撫でてみるかな。

ほら、見えない女の指が、ツ、ツーって、肌を撫でてるよ。

怖いでしょう？ 気持ち悪いでしょう？

ここに住んでたら、毎晩、こんなこと、されますよ。

いやでしょう？ 耐えられないでしょう？

明日には、引越す準備、しましょうね。

って、ぜんぜん効いてないみたい……。

前の住民なんて、ちょっと足首つかんだだけで、

部屋を飛び出して、もう戻ってこなかったのに……。

どうしよう……。

この人、靈感、あるかなかな？

聞こえるかな、わたしの声……。

見えるかな？ わたしの姿……。

でも、よほど霊波が合わないと、そういうのって、むずかしいのよね。

っていうか、わたし、パワーがないから、生きてる人に自分の姿、  
見せること、できないんだった……。

しかたない……。

もっと、別の場所、触ってみるか。

触感だけは、感じさせる力があるのよね。わたし。

ふくらはぎから、膝の裏……。太ももの、裏のほうに、  
指先をツ、ツーって……。

ほら、びっくりしてる。

そりゃそうよね。

見えない指で、太ももまで撫でられているんだから。

って、なんでパンツ脱ぐのよ！

ちよつ、ちよつとお……。

もしかして、露出狂？

どうしよう。

手ごわいな……。

でも、こんなことでたじろいてちゃダメだよね。

だって、ここ、わたしの部屋なんだから。

でも、はじめて見るな……。

おちんちんって、こんな形、してるんだ……。

生々しいというか、なんだかここだけ、別の生き物みたい。

うわっ、ヒクヒクしてる。

どうしよう……。どうしよう……。

って、わたしが怖がってどうするのよ！

わたしが怖がらせなきゃならないのに。

えっ？ なにブツブツ言ってるのって？

ええっ！ 見えるの？ わたしのこと。

そうなんだ、見えるんだ……。

想定外だな。それに、見えてるのに怖がらないなんて、

わたし、どうすればいいのよ……。

えっ？ キスされるのが、怖いのか？

そっか、女嫌いなんだ。

いいこと聞いちゃった。

じゃあ、いっぱい、怖がらせてやろうかな。

キスなんてしたことないけど、唇と唇を合わせればいいんでしょ。

簡単よ。

いまさら逃げようとしたってダメよ。

もう、この部屋に二度と来たくないって思えるぐらい、

いっぱい怖がらせてあげるんだから。

ほら、キスしちゃうよ。幽霊と。怖いでしょう。逃げたいでしょう。

でも、逃がしてあげないから。

んっ、んんっ、んん……。

はあ、はあ……。

ほら、どお？ 怖いでしょう？

フフフ……。

怖いんだ。

じゃあ、もっと、怖がらせてあげる。

【←キスする音】

んん、ちゅっ、チュパチュパ、ネロネロ……。

【ここまで】

はあ、はあ……。

なに震えてるの？

えっ？ 唾液なんてつけないでくれって？

汚いって？

失礼ね。

でも、そんなに唾液がきらいなんだね。

だったら、こういうのは、どお？

いっぱい、唾液、注ぎこんであげるから。

【←キスする音】

んん、ちゅっ、チュパチュパ、ネロネロ……。

【ここまで】

はあ、はあ……。

どお？ 君の口の中、わたしの唾液でいっぱいだよ。

だめだよ、出しちゃ。

口の中で転がして、ゆっくり、味わってから、飲み込むの。

フフフ……。

嫌いやでしょ。怖いでしょう？

顔も、わたしの唾液でヌルヌルだよ。

全身、もっとヌルヌルにしてあげようか？

えっ？ 頼むから、乳首だけは、やめてくれって？

乳首、舐められるのが嫌いやなんだ。

だったら、もっと怖がらせちゃえ……。



ほら、乳首、舐めちゃうよ。

わたしの舌、乳首にくっついちゃうよ。

### 【舐める音】

ペロペロ、ペロペロ。

### 【ここまで】

嫌いやでしょ。女に乳首舐められるなんて。

乳首、なんだか硬くなってきたよ。それに、ちょっと大きくなったみたい。

えっ？ 男の人って、怖いところ、硬くなるんだ。

わたしの攻撃、効いてるんだね。

だったら、こっちの乳首も舐めちゃうよ。

ほら、どお？

こっちの乳首は、指でつまんでコネコネしてあげましょうか？

唾液でヌルヌルして、気持ち悪いでしょう？

ほら、こんなにヌルヌル……。

乳首、吸っちゃおうかな。

### 【←キスする音】

チュパチュパ、チュパチュパ……。

### 【ここまで】

怖いんだね。

乳首、もつと硬くなってきたよ。

【←激しく舐めたり吸ったりする音】

チュパチュパ、チュパチュパ……。

チュパチュパ、チュパチュパ……。

【ここまで】

フフフっ……。

そんなに汗かいて、からだ、震わせたって、まだ許してあげないよ。  
もつと、いっぱい、怖がってもらわないとね。

えっ？ お願いだから、服だけは、絶対に脱がないでくれって？

見たくないんだ。女のからだ。

汚<sup>け</sup>らわしいって？

ひどい言われようね。

フフフっ……。

そんなこと言われたら、脱いじゃうしかないじゃない。

怖いよ、怖いよ。

わたしのおっぱい、大きいから、すごく怖いよー。

ほら、どお！

わたしのおっぱい。

大きいでしょう？

いかにも、女のからだって感じでしょう？

ほら、おっぱい、口についちゃったよ。

やわらかいでしょう。スベスベしてて、もっちりしてて、

女嫌いには、たまらなく嫌いやな感触でしょう？

ほうら、やわらかいよ。プニョプニョだよ。

やめてくれって言ったって、やめないよ。

乳首なんて、どう？

ほうら、ピンクで尖ってて、気持ち悪いでしょ。

えっ？　なんで、口に、咥えるの？

見えないように、咥えてるって？

そっか……。気持ち悪いから、口に入れて、隠してるんだね。

【←軽いあえぎ】

ん、ん……。

あっ……。

【ここまで】

なんでも、ないわよ……。

ほら、怖いんでしょ。

こっちの乳首も、口で隠してごらんよ……。

【←軽いあえぎ】

ああっ……。

んんっ、ふあっ、ああっ、ああっ……。

【ここまで】

もう、やめてくれって？

やめないよ。もっと、怖がらせてあげるんだから……。

チンチン舐められたら、怖くて死んじゃうから、

それだけは、勘弁してくれって？

死んじゃうぐらい、怖いんだ。

じゃあ、死んでもらっちゃおうかな。

おちんちん、こんなに大きくしちやって……。

よっぽど、動揺してるのね。

フフフっ……。

こうやって、根本を握って、

先端の、パンパンに張った部分を、舌で、舐めあげて……。

【←軽いフェラ音】

ん、んん、あう、ん、ん……。

【ここまで】

歯、食いしばって、苦しそうな顔してる。

恐怖で、目も開けられないんだ。

フフフっ……。

だったら、こういうのはどうかな？

全部、啞えこんで、しゃぶっちゃうから……。

【←あえぎ混じりの、いやらしいフェラ音。少し長めに】

ん、ん、クチュクチュ、ハムハム……。

チュパチュパ、ヌルヌル、ジュルジュル、チュパチュパ……。

【ここまで】

はあはあ……。

おちんちんの先端から、涙が垂れてるよ。

怖くて、泣いちゃってるんだね。

フフフっ……。

よほどわたしの攻撃が、効いてるようね。

なに？ お尻の穴なんて舐められたら、絶対死んじゃうって？

だったら、見せてもらいましょうか？

君の、お尻の穴。

こうやって、膝の裏に手をそえて、向こうへグイっと……。

うわっ、恥ずかしい格好……。

おむつ取り替える赤ちゃんみたいだよ。

お尻の穴、丸見え。

フフフっ……。

女の子の前で、こんな格好さらしたら、そりゃ、怖いよね。

おまけにここ、舐められちゃうんだよ。

逃げたいよね。でも、逃げられないんだよ。

こんなにヒクヒクさせちゃって。

すぼめたって、隠すことなんて、できないよ。

だって、丸見えなんだから……。

フフフっ……。

じゃあ、舐めちゃおうかな……。

舌を伸ばして、こうやって……。

【←舐める音】

ペロペロ……。

フフフっ……。

【ここまで】

からだ、すごくビクッてしたよ。

やめてくれって？

やめないよ。今度は、舌、奥まで入れてあげましょうか？

【←舐める音】

ペロペロ。むにゅ、にゅにゅ……。

【ここまで】

わかる？ 奥まで舌、入っちゃったよ。

幽霊に、お尻の奥まで舐められちゃうなんて、

怖いでしょ。怖いよね、。

そんなにからだ、ビクビクさせちゃって。

死んじやいそう？

そう。じゃあ、もっと、奥まで舐めちゃおう！

【←激しく舐める音】

ペロペロ。むにゅ、にゅにゅ……。

ニユルニユル、ニユルニユル……。

入り口も、

ペロペロ。むにゅ、にゅにゅ……。

ペロペロ。クチュクチュ、ペロペロ……。

【ここまで】

フフフっ……。

もう、息も絶え絶えじゃない。

女嫌いが、女にこんなことされちゃ、もう生きていけないわね。

そうだ。

わたしのあそこ、なんだか、ヌルヌルしちゃってるの……。

唾液が怖いなら、このヌルヌルなんて、もっと怖いでしょう？

ここ、女の子にしかない場所だから、

女嫌いには、一番、嫌なところよね。

舐めてもらおうかな。

わたしのヌルヌル。

そんなことできないって？ お願いだから、やめてくれって？

でも、やめないんだなあ。

顔の上でまたいで、腰を、おろして……。

ほら、君の嫌いな場所、すぐ目と鼻の先だよー。



見える？

生温かい粘液が、唾液みたいに……。

嫌いやでしょ。

でも、ほら、糸をひいて、垂れちゃうよ。君の口に。

ほら……。

あーあ。垂れちゃった……。

どお？ おいしい？

フフフ……。

苦しそうな顔しちゃって。

もう、嫌いやで嫌いやでたまらないでしょう。

逃げ出したいでしょ。

でも、まだよ。

あなたには、もっといっぱい、恐怖を刻み込んであげないとね。

ほら、舌を伸ばして舐めるのよ。気持ちの悪い、ピンクの唇。

【いろっぽいあえぎ声】

あっ、あっ、ああっ……。

あうっ、はあ、ああっ……。

【ここまで】

どんな味……？

甘くて、ちょっと酸っぱくて、すごく嫌いやな味なの？

熟れた熱帯の果実みたい？

君、熟れた果実、嫌いなんだ。

だったら、もっと飲ませてあげる。

ほら、もっと飲んで……。

わたしの、ねっとりとした、女の汁しる……。

【いろっぽいあえぎ声】

ああっ、あっ、ああっ……。

あうっ、はあ、あう、ああっ……。

【ここまで】

変な声、出さないでくれって……？

耳が腐るって？

フフフ……。

ひどいこと言ってくれるのね。

じゃあ、もっと出してあげるわ……。

君の嫌いな、女の声……。

【←激しめのあえぎ声、長めにお願いします】

ああっ、ああっ、あんあん、ああっー。

ああっ、あうっ、はう、あん、あん、ああっー

ああっ、ああ、はうっ、ああっ……。

あう、あう、ああっ……。

【ここまで】

汚<sup>けが</sup>らわしいところ、舐めさせられて、変な声、聞かされて、

嫌<sup>いや</sup>でたまらないでしょう？ こんな拷問、受けたこと、ないでしょう？

でも、まだ許してあげないわよ。

ピンクの裂け目の、上のところに、

ツンツて飛び出たところ、あるでしょう？

そこ、もっと舐めて……。

あなたの嫌いな、女のからだの、一番、汚<sup>けが</sup>らわしいところだよ……。

【←この辺からは、最後にかけて、

あえぎ混じりで、色っぽくお願いします】

はうぐっ……。うぐ、ああっ、ああっ……。

そう、そこ……。もっと、激しく……。

ああっ、ああっ、あっ、あっ……。

もっと、吸って！

ああっ、うぐ、ああっ、ああっ！

ああっ、おしっこ、漏れちゃうっ。

ああっ！ あっ！

ちょ、ちよつと、漏れちゃった。

嫌でしょ。逃げだしたいでしょ。

でも、逃がさないから。もっと、怖がらせてあげるんだから。

ああっ、ああっ、愛液、出ちゃう、ああっ、止まらない。

すごく、クチュクチュいってる。

君の嫌いな音……。

愛液と、おしっこ、唾液が混じって、

粘膜がこすれる音……。

それに、どお？ この、濃密な、女の匂い……。

甘酸っぱいフェロモンで、鼻の奥までいっぱいでしょう？

嫌いやよね。怖いよね。

ああっ……。

もつと、舐めるの……。

ほら、お尻の穴も、ちゃんと、舐めて……。

あうっ……！

そう、その穴……。

嫌いやでしょう？ 汚いでしょう？ でも、舐めるのよ。

ちゃんと、舌をとがらせて、穴を、こじ開けるみたいに。

あうっ、ああっ、ああ、ああっ！ うくっ！

大きい唇も、小さい唇も、ツンってとがったピンクの突起も、

ぜんぶ、舐めて。

そう、もつと、激しく……。

ああっ、ああっ、はう、うぐうっ……。

死んじゃいそう？

怖くて、死んじゃいそうなの？

よかったわ……。

じゃあ、朝になったら、すぐにでも、引っ越しね……。

えっ？ ここに、おちんちん、入れられたら、

怖くて、引っ越し、確実だって？

そうなんだ。

恐怖の総仕上げね……。

入れてあげるわ。

それが、君の一番、怖いことなんでしょう？

女のからだのヌメヌメしたところに、自分の一番大切な部分を

入れちゃうなんて、そんなの、耐えられないよね。

怖いよね。恐ろしいよね……。

【ラストが近いので、この辺からは、興奮が高まった感じでお願いします】

ほら、見える？

わたしの唇、君のおちんちん、啜えちゃうよ。

先端が、ぴちよって……。

ああっ……！

先っぽ、啜えちゃった……。

ああっ、ヌルヌルって、入る、入っちゃうっ！

あうぐっ！

奥まで、啜えちゃったよ……。

苦しそうな顔しちゃって……。

つらいでしょ。怖いでしょ……。

こうやって、動いたら、どお？

わたしの唇で、挟み込んだまま、上下に……。

ああっ、うぐ、はううつ……。

そんなに、声出したって、やめてあげないよ。

もっと、もっと、怖がらせてあげるんだから……。

わたしの奥が、キュッ、キュッて動いてる。

たまらなく、嫌いやな感覚でしょ。ヌメヌメした襞ひだが、君のおちんちんを

包みこんで、からみついて、まとわりついて……。

ああっ、あっ、あっ、うぐっ……。

クチュクチュ鳴ってるよ。

粘膜が密着して、こすれ合う、恐ろしい音。おぞましい音。

ほら、聞こえる。すごく、鳴ってる……。

クチュクチュって。

ああっ！ ああっ！

もっと、激しく動いてあげる。

ほら、粘膜がこすれて、

ああっ、ああっ！

乳首も、嫌<sup>いや</sup>なんでしょ。

指で、コネコネしてあげるね。

どお、おちんちん、わたしの中で、しごかれて、

ふたつの乳首、コネコネされて、

嫌<sup>いや</sup>でしょ。怖いでしょ。

あっ、ああっ、ああっ……。

あっ、ああっ、ああっ……。

歯、食いしばっちゃって、そんなに苦しいの……。

そんなに、つらいの……。

わたしのおっぱい、驚<sup>わし</sup>づかみにしちやって……。

怖くて、なにかにすがりたいのね。

いいわよ。君を、恐怖のどん底に落としてあげる。

ああっ……。

ああっ……。

もっと、おっぱい、揺さぶって！

ああっ、クチュクチュいってる。

おっぱいも、あそこも……。



ああっ、わたしの中が、キュッ、キュッて……。

ああっ！ 襷がこすれる。

おちんちん、硬い！

すごく、硬くて熱いわっ！

君の恐怖、感じるよ。

もっと、もっと感じて！

ああっ、ああっ……。！

恐怖の証、あかしわたしの中に、飛び散らせてっ！

【ここまで】

【←冷静な自分にもどって】

あれ？

ぜんぜん、引越す様子、ないんだけど。

あれだけ、恐怖を植えつけてあげたのに……。

すいぶん、しぶといわね。

まあ、いいわ。

今夜も、恐怖、植えつけてあげるから……。

もう、嫌<sup>いや</sup>つてぐらいに……。

【←ちよつと怖い笑い声】

フフフっ……。

フフフフっ……。

【おわり】

【どうもありがとうございました！】